

学生の声

フランス語を選んで 良かったこと

工学部 電気・電子工学科1年 中根 寿

大学に入って新しく第二外国語を選択しなければなら
ない。自分が選んだのはフランス語だった。入学当初、
自分は英語だけでも苦手なのに他の言語も学ばなければ
いけないのかと暗い気持ちになっていた。けれどもその
不安もすぐに解消された。まったくの知識ゼロのフラン
ス語なのでアルファベットから始まり文法事項を一つず
つゆっくり習う。そんな流れだったが、慣れてしまえば
聞きなれない発音や単語はとても新鮮に感じられ、けっ
こう楽しい。受験の英語のように詰め込まなければなら
ないわけではなく、ただ純粋な興味からフランス語を学ば
うという気持ちになってくる。卒業の単位として必要だ
からもちろん試験もあるが、学んだことだけきちんと覚
えておけば難しいこともない。

高校までは進学のために勉強することがほとんどだっ
た。今でも自分の学科の専門教育科目にたくさん時間を
かけなければならないのに英語に加えて他の外国語を学
ぶ必要があるのかと最初は思っていたが、それは間違い
だった。高校時代は課題を与えられるのが当たり前で自
分から何かやろうという気持ちが薄かったが、大学に入
って最初に自分で選択したフランス語は貴重だし、興味
が持てる。最初は簡単なことから学んでいって徐々に積
み上げていくことの大切さを思い出させてくれて良かった
と思う。

大学で必要なことは意欲だと思う。何をするにしても
そうだが、やろうとする意欲がないとなかなか前に進ま
ない。もちろんすべてに対してそういったものが持てる
わけではない。だから自分のやる気や意欲を保てるもの
で気分転換して他のものを乗り切って行くと良いと思う。
専門分野ではやることが決められてしまっていることが
多いので、共通教育科目で自分の興味があるものを選べ
るのはとても助かる。自分はその一つがフランス語だっ
たので、これからも学んでみたいと思う。